

3 - 4 福島県東部におけるラドン観測 (XXI)

Radon Observation in the Eastern Part of Fukushima Prefecture (XXI)

東京大学大学院理学系研究科
Graduate School of Science, The University of Tokyo

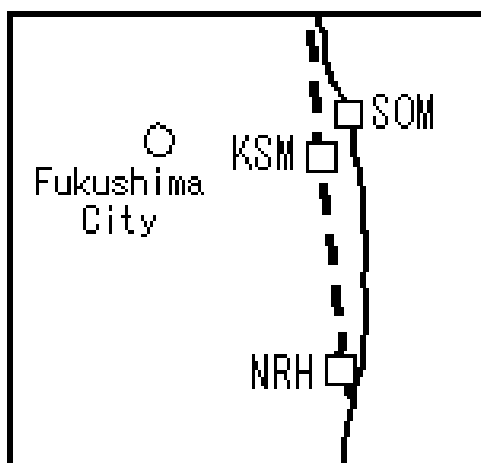
前報¹⁾ に引き続き、福島県東部における地下水のラドン濃度の連続観測結果 (2003 年 6 月 ~ 2004 年 5 月) を報告する。

観測点は、第 1 図に示す相馬 (SOM)、鹿島 (KSM)、楢葉 (NRH) の 3 地点である。第 2 図は、SOM、KSM、NRH における、1 時間毎のラドン濃度 (積算値) の 24 点移動平均値の時系列である。図の右上には、1998 年以降のラドン濃度の観測値を示してある。

SOM では例年どおりラドン濃度はきわめて一定である。2003 年 10 月に KSM には四重極質量分析計を設置したためにラドンカウントの平均値が約 800 カウントほど低下した。

参考文献

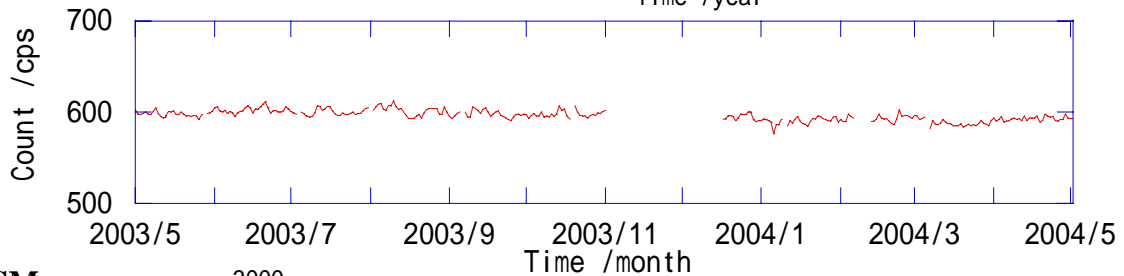
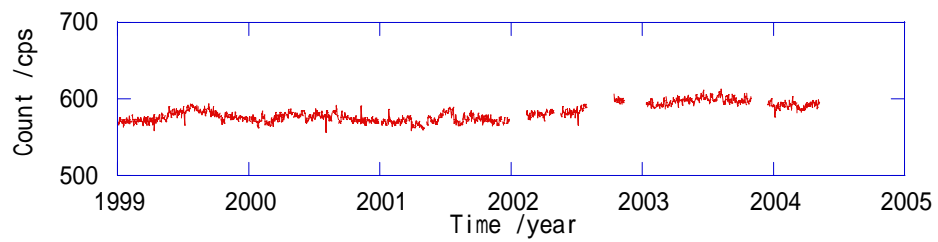
1) 東京大学大学院理学系研究科: 福島県東部におけるラドン観測 (XX) 連絡会報 69-70, 70 (2003).



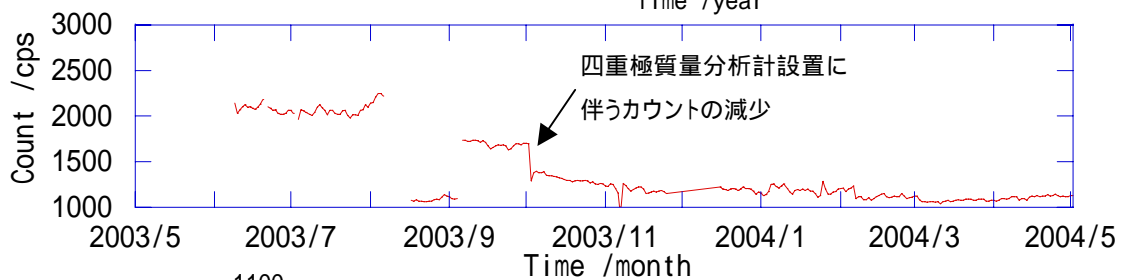
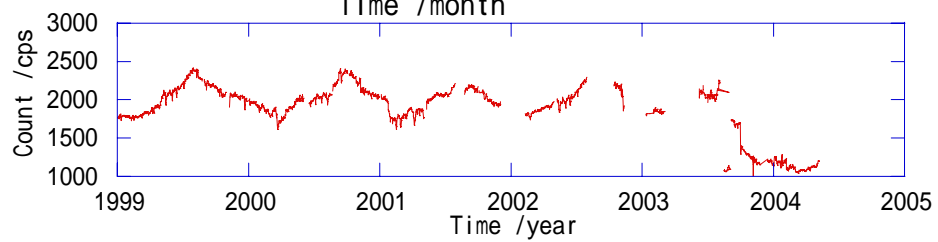
第 1 図 福島県東部の地球化学観測点の位置

Fig.1 Locations of geochemical observation sites in the eastern part of Fukushima Prefecture.

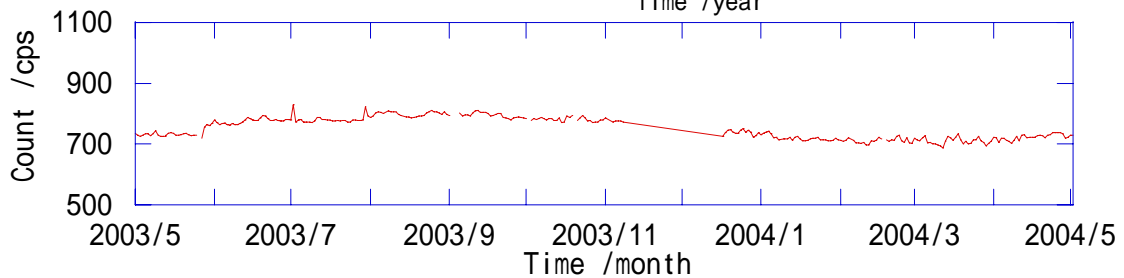
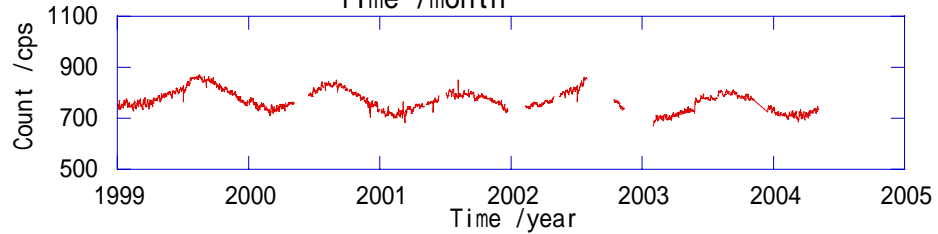
SOM



KSM



NRH



第 2 図 SOM、KSM、NRH における地下水のラドン濃度変化

Fig.2 Temporal variations in the radon concentration in groundwater at SOM, KSM, NRH. The data are 24-hour moving average value.